

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 327

事務事業名	農山村活性化支援事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	黒岩 智子	内線	251

基本目標	040101	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	1	総務管理費	
目	17	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費	
事業コード	030403	大村市農山村活性化支援事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	えびねの郷活性化協議会、松原そばの会、鈴田地区活性化協議会(仮称)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	農山村では、農業所得が向上しないため、農家数の減少が進み、農業集落の存続が危惧されている。グリーン・ツーリズムや、6次産業化によって農産物の付加価値を高めることにより、農家の所得向上と農村の活性化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	地域活性化を図る活動に係る経費の一部を補助する。 ・地域の特産を生かした農産物の商品開発 ・グリーン・ツーリズムの受入れ体制の確立 ・地域連携組織の運営 ・景観植物の作付け ・加工品開発等活動費経費 事業期間 ・かんさくの里活性化協議会(平成24年度～平成26年度終了) ・松原そばの会(平成27年度～平成29年度) ・えびねの郷活性化協議会(平成26年度～平成28年度)		
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 29 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱、大村市農山村活性化支援事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 活動組織数	計画値	1	2	2	3	H28年度から指標変更
		実績値	1	2	2		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 組織が取り組む事業数	計画値	4	8	8	9	H28年度から指標変更
		実績値	4	8	9		
	達成度	%	100.0%	100.0%	112.5%		
②	計画値						
	実績値						
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	500	1,000	1,000	1,500	500	0	0	4,500
国庫支出金								
県支出金	500	500						1,000
地方債								
その他								
一般財源		500	1,000	1,500	500	0	0	3,500
② 人件費(千円)	2,480	1,229	1,552	1,527	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.31	0.16	0.22	0.21	地域活性化を図る活動に係る経費の一部を補助する。	地域活性化を図る活動に係る経費の一部を補助する。		
時間外勤務(時間)	8	10	0					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,980	2,229	2,552	3,027				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	(えびねの郷:環境保全活動) ・景観作物(コスモス・菜の花・彼岸花)を作付した。(7月、10月実施) ・8/30鳥獣被害対策講習会を実施した。 (えびねの郷:産業振興活動) ・交流イベント(4/26～27えびね祭り、11/14～15新米まつり)、8/5野菜技術講習会、11/23～24先進地視察(こんにやく加工、直売所)を行った。 (松原そばの会:環境保全活動) ・耕作放棄地にそばの作付をし(4～6月、9～11月)、有害鳥獣被害を未然に防ぐ活動を行った。 (松原そばの会:地域振興活動) ・えごま栽培先進地視察(7/30鹿島市)、そば栽培機械化先進地視察(11/18～19阿蘇市)、交流イベント(松原おくんち11/21～22、そば打ち体験6回)を実施した。
事業が抱える問題・課題等	えびねの郷において、平成28年度で新規作物導入としてヤーコン栽培を計画したが、初めての取組みでもあり、作付・収穫・加工等に関して不透明な部分がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農山村地域では、高齢化等農家の減少で農業集落の存続が危惧されている状況にあり、活性化計画に基づき、地域での連携組織を作り活動を行うことは、地域の一体化や活性化の推進に繋がる。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	具体的な活性化計画の策定等の支援を行なうことは、各組織の自主的な活動への活力にも繋がる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	活性化計画に基づく自立に向けた実践活動を展開することで、一体となった組織活性化の一助となり得る。						
妥当性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱及び大村市農山村活性化支援事業費補助金交付要綱に基づき実施している。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	環境保全活動と産業振興活動(地域資源を活用した加工品開発などのビジネス化)の実践により、将来的な後継者の育成及び雇用の創出に繋げたい。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱及び大村市農山村活性化支援事業費補助金交付要綱に基づき実施している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	えびねの郷が実施しているヤーコン栽培については、先進地への視察を行い、作付や収穫などのスキルアップのために支援していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。